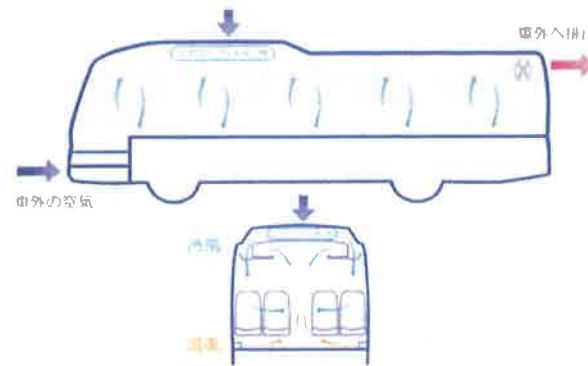


貸切バスに おける 新型コロナウイルス 感染症対策 に関する 取組み

○車内換気【密閉対策】：運行時は常時『外気導入モード』にて運行致します。『外気導入モード』時では、車両の前方と、屋根上のエアコンから新鮮な空気を取り入れることにより、概ね5分で車内の空気を入れ替えることが出来ます。

○乗務員の感染防止【密接対策】：乗務員の出庫前点検時、健康チェック・体温チェックを致します。また、乗務員はバスに乗務する際にはマスクを着用させていただきます。

○乗務員による消毒：お客様の待機中に可能な限り、車内の手が触れる部分を消毒致します。また、窓を開けて車内換気を致します



バスの感染症拡大予防対策

輸送機関利用上の対策

- 各交通機関の感染症対策に関するガイドラインに従った利用が出来るように事前に依頼し、実施を励行して頂きます。（空調装置・窓開けによる換気、設備や車両の定期的な消毒、手洗い・消毒設備の設置、利用者への注意喚起、乗務員・従業員の指導・管理徹底等）
- 各輸送機関の座席については、乗り物内の換気機能を最大限に作動させ、全員がマスクを着用し、会話を控えめにすることを前提で座席間隔をあけることにご協力頂きます。
- 乗務員・従業員の定期的な検温等、健康管理を徹底し、濃厚接触者や体調不良者の業務を停止させ、適切な労務管理を徹底して頂くよう要請致します。
- 乗務員・従業員の勤務中のマスク着用、手洗いや咳エチケットの励行等、感染防止に対する啓発・指導等の徹底を依頼し、旅程中に管理を行います。
- 乗務員・従業員に体調不良者が発生した場合は、速やかに代替乗務員・従業員の確保を行うように依頼致します。
- 衛生管理責任者と保健所との連携を強化し、労働衛生管理等の関連法令上の義務の順守を要請致します。

大型観光バス「日野セレガ」の車内空調について



大型観光バス「日野セレガ」は、「外気導入モード」時では、車両の前方と、屋根上のエアコンから新鮮な空気を取り入れることにより、おおむね5分で車内の空気を入れ替えることができます。

- 「自動運転モード」時は車内の空気汚れを感知すると「強制排気モード」に切り替わります
- デフロスタを「外気導入」にすることで常時換気ができます

